

新年のごあいさつ

迎春

日光市長 粉川 昭一

明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私は昨年5月の市長就任以来、「日光市を子や孫の世代に過度な負担を残さず、持続可能なまちにする」という大嶋一生前市長の政治信条を引き継ぎつつ、日光市を次の段階(Next Stage:ネクストステージ)に発展させるため、「市民サービスは最大に、経費は最小に(行財政改革)」、「新たな取組にチャレンジ」、「迅速性を重視した新型コロナウイルス対策(コロナ対策)」、「心を感じるまち日光」の4つを重点施策として掲げ、市政経営に取り組んでまいりました。特に、コロナ対策と行財政改革を最優先に力を注ぎました。

「コロナ対策」では、市民の生命と暮らしを守るため、就任後直ちに「新型コロナウイルス対策センター」を設置いたしました。センターでは、感染防止と経済対策とともにワクチン接種に関する業務を集約し、日々刻々と変化する感染状況や国の施策への柔軟かつスピーディーな対応に努めてきたところです。市民の皆さんの一日も早い安心のため、スムーズなワクチン接種を医療機関の皆さんのご協力をいただきながら進めたほか、事業者等の皆さんが実施した

職域接種や感染症対策への支援、また「プレミアム付き共通商品券発行事業」など地域経済回復に向けた取り組みへの支援を積極的に行ってまいりました。

「行財政改革」では、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「長期財政の収支見直し」を練り直し、改めて市の財政状況を示したうえで改革に取り組むことといたしました。依然として厳しい財政状況が続くことから、公共施設の整理を進めるなど、市民の皆さんのご理解をいただきながら財政の健全化に向けて全力で取り組んでまいる所存です。

一方、昨年8月には、清滝出張所跡地への清滝郵便局新局舎移転に伴



市政・教育等功労表彰式の様子



い、市の窓口業務の一部を日本郵便株式会社へ委託し、郵便局においても市の行政サービスを受けられるようにいたしました。

今後、限られた職員と厳しさを増す財源の中で、行政サービスを低下させずに、市民の皆さんの多様なニーズに対応できるように、民間企業と連携した事業展開を進めてまいります。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、2度にわたって緊急事態宣言が発出されたことで、当市の基幹産業である観光産業が大きな打撃を被り、閉塞感が漂っておりました。このような中、1年の延期を余儀なくされた東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が無事に開催され、日光市からも5名の選手がオリンピックの舞台に立たれました。選手皆さんの全力を尽くしたプレーは、子どもたちに夢と希望を与えるとともに、コロナ禍の沈んだ雰囲気吹き飛ばす明るい話題となりました。

また、市におきましても、まだまだ知られていない日光の魅力的な資源を多くの方々に知っていただきたいの思いから、昨年6月に新しい日光の魅力を発信するブランドデザイン「NEW DAY, NEW LIGHT, 日光」をスタートいたしました。日光の魅力的な風景を使った映像をテレビC

MやSNSなど、さまざまな媒体を活用してPRしたほか、若く華やかな色(若草色、さくら色、若芽色)を使用したオリジナルの「ロゴマーク」を作成し、ポスターや広報紙に掲載するなど、日光の魅力発信に努めているところです。今後も、多くの方々に日光への憧れを持っていただくことで観光客の増加を図り、コロナ禍で影響を受けた市内経済の回復につなげてまいります。

令和4年を迎え、「いちご一会とちぎ国体 冬季大会 スケート・アイスホッケー競技会」の開催まで1カ月を切りました。日光市で冬季大会が開催されるのは、2014年「ひかりの郷 日光国体」以来8年ぶりとなります。今回の冬季大会は、残念ながら無観客での開催となり、選手たちの華麗な演技や熱い戦いを会場で見ることが叶いませんが、全競技がインターネット配信により観戦ができますので、ぜひとも選手たちに熱いエールを送っていただきたいと思えます。

さらに、10月には「いちご一会とちぎ国体 本大会」も開催され、市内では、ホッケー、ボクシング、軟式野球の各競技が行われます。両大会ともに参加される選手皆さんが安心して日光の地を訪れ、ご活躍いただけるよう、しっかりと準備、支援をしてまいります。

また、昨年11月、2023年に日本で開催されるG7サミット関係閣僚会合について、栃木県が日光市を開催地として誘致することを表明いたしました。当市における開催となれば、国内外から多くの方々がここに日光市を訪れることになり、それをもたらす経済効果は大きく、地域の活性化に期待が膨みます。加えて、国際観光文化都市「日光」の魅力を改めて世界に発信する絶好の機会になるといえます。誘致活動を主導する栃木県と連携・協力しながら、日光市が開催地として選ばれるよう努めてまいります。

令和4年度は、市長就任2年目の年であるとともに、現在策定中の第2次日光市総合計画後期基本計画に掲げる施策の着実な実施に向けて新たな一歩を踏み出す年となります。就任からこれまでの取り組みを踏まえ、日光市の都市像である「Feel a good」暮らしで満足 訪ねて納得 自然と笑顔になれるまちの実現」に資するための施策を後期基本計画の重点施策にしっかりと位置づけ、そしてこの愛すべき日光市を次の世代に託せるよう、『夢と希望』にあふれる新たな日光を市民の皆さんと創りあげてまいる所存です。

結びに、新年の門出にあたり、市民の皆さんのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

令和3年度 市政・教育等功労表彰式

令和3年11月23日に行われた市政・教育等功労表彰式で、「東京2020オリンピック」のホッケー男子・女子日本代表として活躍された5名の方へ市民栄誉賞が贈られました。

令和3年度 市民栄誉賞受賞者



こづか みき 選手
狐塚 美樹 選手



ながよし けん 選手
永吉 拳 選手



きりした よしき 選手
霧下 義貴 選手



おちあい ひろまさ 選手
落合 大将 選手



おおはし まさき 選手
大橋 雅貴 選手